

平成25年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年12月28日

上場取引所 大

上場会社名 日本プロセス株式会社

コード番号 9651 URL <http://www.ipd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大部 仁

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務統括

(氏名) 久保 裕

TEL 03-5408-3351

四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日

配当支払開始予定日

平成25年2月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年5月期第2四半期の連結業績(平成24年6月1日～平成24年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年5月期第2四半期	2,391	15.8	95	—	114	—	56	—
24年5月期第2四半期	2,064	△4.2	△14	—	7	52.8	△6	—

(注)包括利益 25年5月期第2四半期 59百万円 (—%) 24年5月期第2四半期 △5百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年5月期第2四半期	10.16	—
24年5月期第2四半期	△1.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年5月期第2四半期	8,754	—	8,061	—	92.1
24年5月期	8,624	—	8,085	—	93.8

(参考)自己資本 25年5月期第2四半期 8,061百万円 24年5月期 8,085百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年5月期	—	15.00	—	15.00	30.00
25年5月期	—	15.00	—	—	—
25年5月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年5月期の連結業績予想(平成24年6月1日～平成25年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,100	9.7	310	24.5	350	17.6	202	33.2	36.43

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期連結会計期間より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年5月期2Q	5,745,184 株	24年5月期	5,745,184 株
25年5月期2Q	200,092 株	24年5月期	200,092 株
25年5月期2Q	5,545,092 株	24年5月期2Q	5,545,092 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
(1) 生産、受注及び販売の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、このところ弱い動きがみられるものの、東日本大震災後の復興需要などを背景に緩やかに回復しつつありますが、欧州政府債務危機に伴う世界的信用不安の広がりによる海外経済の更なる下振れや新興国経済の減速懸念などにより、国内景気の先行きは不透明な状況にありました。

情報サービス産業におきましても、ソフトウェア投資は緩やかに増加しているものの、企業のIT投資に対する慎重な姿勢は継続しており、受注環境は依然として厳しい状況が続いております。

こうした環境の中、当社は平成24年6月より3ヶ年の新たな中期経営計画をスタートいたしました。中期経営ビジョンを「社会インフラ分野の安全・安心、快適・便利に貢献する」と定め、①当社が得意としている社会インフラ分野の中から新たな注力分野を発掘する、②顧客が海外で高い競争力を発揮できるようサポートする、③ソフトウェアの要件定義、開発から運用・保守までをトータルにサービスすることにより顧客に最大のメリットを提供するというトータル・ソフトウェア・エンジニアリング・サービス (T-SES) を継続する、を基本方針として企業価値向上に努めております。

ITサービスではアイドル発生による利益の減少などがあったものの、特定情報システムでは前年より継続している大型システム開発が順調に推移し計画より売上が前倒しとなったため、当第2四半期連結累計期間の収益に大きく貢献いたしました。

この結果、第2四半期連結累計期間における売上高は2,391百万円（前年同期比15.8%増）、営業利益は95百万円（前年同期14百万円の損失）、経常利益は114百万円（前年同期7百万円の利益）、四半期純利益は56百万円（前年同期6百万円の損失）となりました。

なお、保有しております株式の評価損を当第2四半期連結累計期間に特別損失として10百万円計上しております。

セグメントごとの業績は次の通りであります。

#### (制御システム)

制御システムでは、火力発電所向け監視・制御システムは全体的に開発量が減少傾向にあり、そのため担当機能の拡大を図ることで改善に努めましたが、売上高は前年を下回りました。発電所制御装置のミドルウェア開発や環境運用計算機の開発等は横ばいで推移しました。一方、自動車向けの制御システム開発は好調に推移し、車載ナビシステム開発も海外案件などが順調に推移したことにより、制御システム全体として売上高は前年を上回りました。

この結果、売上高は531百万円（前年同期比3.9%増）、セグメント利益は125百万円（前年同期比2.3%減）となりました。

#### (交通システム)

交通システムでは、新幹線の運行管理システム開発や在来線の運行管理システム開発は横ばいで推移しましたが、その他のシステムの不具合対応により受注活動が不足したことなどにより、売上高、利益ともに前年を下回りました。

この結果、売上高は277百万円（前年同期比12.6%減）、セグメント利益は39百万円（前年同期比17.5%減）となりました。

#### (特定情報システム)

特定情報システムでは、前年より継続している危機管理分野の大型システム開発が順調に推移し、計画より売上が前倒しとなりました。また、その他の危機管理分野も堅調に推移しました。

この結果、売上高は368百万円（前年同期比139.6%増）、セグメント利益は106百万円（前年同期8百万円の利益）となりました。

#### (組込システム)

組込システムでは、ストレージデバイスの組込システム開発は堅調に推移しました。スマートフォンのプラットフォーム開発は、受注に山谷があるものの横ばいで推移しました。また、今年より開始した自動車向けの組込システム開発も順調に立ち上がりました。

この結果、売上高は358百万円（前年同期比8.8%増）、セグメント利益は47百万円（前年同期比442.9%増）となりました。

#### (産業・公共システム)

産業・公共システムでは、ICカード関連のシステム開発は、携帯電話やスマートフォン向けに加えデジタル放送向けも受注するなど堅調に推移しました。また、コンテンツ管理製品の開発は、顧客業務の

拡大に伴い堅調に推移しました。その他、鉄道事業者向け設計支援業務や自動改札の改造案件、医薬業界向けサービスの開発などは横ばいで推移しました。

この結果、売上高は370百万円（前年同期比36.3%増）、セグメント利益は84百万円（前年同期比38.1%増）となりました。

(ITサービス)

ITサービスでは、検証業務は顧客の商品開発の減速やオフショア化によりアイドルが発生したため利益が減少したものの、構築支援業務は震災特需が継続し堅調に推移しました。また、保守・運用業務は会計システムが堅調に推移し、その他は概ね横ばいとなりました。

この結果、売上高は484百万円（前年同期比0.9%増）、セグメント利益は87百万円（前年同期比26.8%減）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて129百万円増加して、8,754百万円となりました。この主な要因は、投資有価証券が増加したこと等によります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて153百万円増加して、692百万円となりました。この主な要因は、賞与引当金及び未払法人税等が増加したこと等によります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて24百万円減少して、8,061百万円となりました。この主な要因は、配当金の支払いにより剰余金が減少したこと等によります。

この結果、自己資本比率は、92.1%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて316百万円増加して、1,138百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、515百万円（前年同四半期は125百万円の使用）となりました。主な要因は、売上債権の減少等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、115百万円（前年同四半期は520百万円の使用）となりました。主な要因は、投資有価証券の取得による支出等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、83百万円（前年同四半期は83百万円の使用）となりました。主な要因は、配当金の支払いによるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成24年7月9日公表の平成25年5月期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年6月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,021,498	3,138,113
受取手形及び売掛金	1,898,508	1,456,969
有価証券	1,851,875	1,487,221
仕掛品	156,726	283,618
原材料	562	562
繰延税金資産	116,450	142,444
その他	45,387	90,201
貸倒引当金	△471	—
流動資産合計	7,090,538	6,599,131
固定資産		
有形固定資産	237,691	235,830
無形固定資産	61,487	46,120
投資その他の資産		
投資有価証券	955,413	1,605,870
その他	279,160	267,079
投資その他の資産合計	1,234,574	1,872,950
固定資産合計	1,533,753	2,154,900
資産合計	8,624,292	8,754,032

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,769	36,752
未払法人税等	32,488	83,531
賞与引当金	236,535	314,408
その他の引当金	8,987	11,075
資産除去債務	3,843	—
その他	166,470	195,837
流動負債合計	483,094	641,603
固定負債		
引当金	55,254	50,405
その他	96	182
固定負債合計	55,350	50,587
負債合計	538,444	692,191
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,487,409	1,487,409
資本剰余金	2,325,847	2,325,847
利益剰余金	4,448,581	4,421,745
自己株式	△175,248	△175,248
株主資本合計	8,086,590	8,059,754
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△742	2,086
その他の包括利益累計額合計	△742	2,086
純資産合計	8,085,847	8,061,840
負債純資産合計	8,624,292	8,754,032

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)
売上高	2,064,389	2,391,331
売上原価	1,710,951	1,912,914
売上総利益	353,438	478,417
販売費及び一般管理費	368,097	383,234
営業利益又は営業損失(△)	△14,659	95,182
営業外収益		
受取利息	14,061	12,740
保険解約返戻金	4,758	4,984
その他	3,100	2,152
営業外収益合計	21,919	19,877
営業外費用		
その他	—	84
営業外費用合計	—	84
経常利益	7,260	114,976
特別損失		
固定資産除却損	47	1,033
投資有価証券評価損	—	10,940
特別損失合計	47	11,974
税金等調整前四半期純利益	7,212	103,002
法人税、住民税及び事業税	14,693	78,125
法人税等調整額	△921	△31,463
法人税等合計	13,771	46,661
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△6,558	56,340
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△6,558	56,340



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△6,558	56,340
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	746	2,829
その他の包括利益合計	746	2,829
四半期包括利益	△5,811	59,170
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,811	59,170
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年6月1日 至平成23年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,212	103,002
減価償却費及びその他の償却費	28,378	24,952
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	47	1,033
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	—	10,940
受取利息及び受取配当金	△14,502	△12,758
引当金の増減額(△は減少)	△44,687	74,640
売上債権の増減額(△は増加)	247,601	441,539
たな卸資産の増減額(△は増加)	△213,139	△126,891
仕入債務の増減額(△は減少)	△11,769	1,982
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△38,045	△45,613
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△29,585	31,049
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△9,145	10,911
その他	△7,346	△7,209
小計	△84,981	507,580
利息及び配当金の受取額	30,571	24,572
その他の収入	13,366	11,176
法人税等の支払額	△83,989	△27,996
営業活動によるキャッシュ・フロー	△125,032	515,333
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,010,000	△1,700,000
定期預金の払戻による収入	1,710,000	1,900,000
有価証券の取得による支出	△1,102,627	△890,657
有価証券の売却及び償還による収入	1,500,000	1,350,000
有形固定資産の取得による支出	△2,247	△5,754
無形固定資産の取得による支出	△7,640	△3,799
投資有価証券の取得による支出	△607,516	△761,771
資産除去債務の履行による支出	—	△3,698
投資活動によるキャッシュ・フロー	△520,030	△115,679
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△83,062	△83,038
財務活動によるキャッシュ・フロー	△83,062	△83,038
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△728,126	316,615
現金及び現金同等物の期首残高	2,004,953	821,498
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,276,827	1,138,113

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報等  
【セグメント情報】

I. 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年6月1日 至 平成23年11月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						合計
	制御システム	交通システム	特定情報システム	組込システム	産業・公共システム	ITサービス	
売上高							
外部顧客への売上高	511,638	317,413	153,751	329,666	272,184	479,735	2,064,389
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	511,638	317,413	153,751	329,666	272,184	479,735	2,064,389
セグメント利益又は損失（△）	128,719	48,154	8,682	8,718	61,097	119,046	374,418

(単位：千円)

	調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
売上高		
外部顧客への売上高	—	2,064,389
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
計	—	2,064,389
セグメント利益又は損失（△）	△389,078	△14,659

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△389,078千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△368,097千円及びその他△20,980千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## Ⅱ. 当第2四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント						合計
	制御システム	交通システム	特定情報システム	組込システム	産業・公共システム	ITサービス	
売上高							
外部顧客への売上高	531,609	277,522	368,389	358,532	370,991	484,285	2,391,331
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	531,609	277,522	368,389	358,532	370,991	484,285	2,391,331
セグメント利益	125,744	39,737	106,645	47,331	84,393	87,147	491,000

(単位：千円)

	調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額 (注) 2
売上高		
外部顧客への売上高	—	2,391,331
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—
計	—	2,391,331
セグメント利益	△395,817	95,182

(注) 1. セグメント利益の調整額△395,817千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△383,234千円及びその他△12,583千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次の通りであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
制御システム	405,864	+6.0
交通システム	237,784	△11.7
特定情報システム	261,744	+80.4
組込システム	311,201	△3.0
産業・公共システム	286,597	+35.8
ITサービス	397,137	+10.1
合計	1,900,330	+12.4

- (注) 1. 金額は製造原価によっております。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ② 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次の通りであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
制御システム	557,378	+8.1	206,987	+41.7
交通システム	277,794	+145.9	210,053	△0.5
特定情報システム	374,255	+159.1	140,431	+84.9
組込システム	352,506	+7.4	113,252	+93.3
産業・公共システム	489,913	+75.5	224,641	+299.6
ITサービス	472,091	+0.7	127,620	△0.4
合計	2,523,939	+36.5	1,022,985	+51.3

- (注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次の通りであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
制御システム	531,609	+3.9
交通システム	277,522	△12.6
特定情報システム	368,389	+139.6
組込システム	358,532	+8.8
産業・公共システム	370,991	+36.3
ITサービス	484,285	+0.9
合計	2,391,331	+15.8

- (注) 1. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
株式会社日立製作所	601,918	29.2	782,519	32.7
日立オートモティブシステムズ株式会社	235,398	11.4	271,543	11.4
株式会社東芝	217,177	10.5	—	—

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
3. 当第2四半期連結累計期間における株式会社東芝に対する販売実績は、総販売実績に対する割合が10%未満であるため記載を省略しております。